

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月10日

計画の名称	半田市における下水道整備による安心安全で快適なくらしの実現（重点計画）													
計画の期間	令和03年度～令和03年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	半田市													
計画の目標	汚水整備を行い、良好な水環境を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）		（R3末）
1	汚水管整備により下水道処理人口普及率を89.01%（R3当初）から89.04%（R3末）に増加させる。			
	市の人口に対する下水道を使用できる区域の人口の割合	89%	%	89%
	下水道を使用できる区域の人口／半田市の行政人口			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	半田市	直接	半田市	管渠（ 污水）	新設	污水管整備（乙川第 2 処 理分区）	污水管○150mm～200mm L=45 1m	半田市	■					60		-
											小計						60		
											合計						60		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を主管する下水道課で数値目標の達成状況を検証した。	令和6年9月
	公表の方法
	ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水整備計画に基づき整備を行い、良好な水環境の提供を行えた
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も計画的に汚水整備を行い、良好な水環境を提供する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を使用できる区域の人口の割合		
	最 終 目標値	89%	目標値89.04%に対し実績値は89.10%である。
	最 終 実績値	89%	